

2026年度

南三陸少年少女自然調査隊

ネイチャー ニュース

Nature News vol.2

【アマモの苗植え】

日 時：令和8年6月14日（日）

8：00～11：30

場 所：南三陸町自然環境活用センター
小涼海岸

スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会
南三陸町教育委員会事務局
南三陸町自然環境活用センター



調査隊では、昨年8月にアマモの種の選別をし、12月に種植えをしました。
今回は、みんなで元気に育ったアマモの苗を小涼の海岸に植えに行ってきました。

「アマモってどんな植物？」

アマモは海中に生育している種子植物「海草（うみくさ）」で、様々な生きもののエサやすみかになります。また、海水をきれいにしたり、光合成により二酸化炭素を吸収して酸素を作るなど、海の生きものだけでなく私たちにとっても大切な植物です。ほかにも、地球温暖化をおさえるブルーカーボン（海洋生物が光合成により吸収して貯め込む二酸化炭素由来の炭素）としての役割も持っています。



「アマモを植えに行こう！」

今回は7名の隊員が参加しました。最初にセンターでアマモの生態や役割についてレクチャーを受けてから、アマモの苗をリヤカーに乗せてみんなで小涼海岸まで運びました。



「さっそく植えてみよう！」

海岸に到着後、2つのグループに分かれて作業を開始しました。

スコップや専用の苗植え機を使い、一株ずつ丁寧に植えていきました。隊員はやわらかい砂地や慣れない作業に苦労しながらも、元気に育つように一生懸命植えていました。今回植えた苗は全部で48株、これからの成長が楽しみです。



「小涼海岸の生きものを見てみよう」

苗植え後は磯観察を行い、波打ち際や岩場を歩いて生きものを探しました。また、この日は気温も高かったので、海の冷たさを満喫する隊員もいました。

今回見つけた生きものは、イワムシやヒラガイ、ミミズハゼ、テッポウエビ、オミナエシフサゴカイなどで、ほかにも宮城県準絶滅危惧種に指定されている、チビイトマキヒトデなどが分かり、隊員は目を輝かせながら見入っていました。



【こどもエコクラブのホームページに調査隊の活動を掲載しています！】

全国の環境保全活動や環境学習を行っている団体やクラブの活動を紹介している「こどもエコクラブ」のホームページに、南三陸少年少女自然調査隊の活動報告を掲載しています。

最新の活動から今までの活動を掲載しているので、ぜひご覧ください。

○こどもエコクラブ・ホームページ URL

<http://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/list.php>

【今後の予定】

☆7月11日(土) 八幡川の生きもの調査

☆9月 5日(土) or 6日(日) スノーケリング体験(おおさき生きものクラブとの交流事業)

※詳細は後日お知らせします。是非ご参加ください。

